

令和2年度 保険者機能強化予算案について

1. 宮城支部医療費適正化等予算について …… 1ページ
2. 宮城支部保健事業予算について …… 3ページ

1. 宮城支部医療費適正化等予算について

◆医療費適正化対策及び広報・意見発信にかかる予算とは

支部の「医療費適正化対策」、「広報・意見発信」に対する予算については、

- 支部ごとに要求できる予算の上限が設けられ、加入者数を踏まえて設定される。
- なお、上限内で要求する「医療費適正化対策」や「広報・意見発信」の取組の分野ごとの配分は、支部の裁量で設定できることを原則とし、予算執行時において分野間の振替えを必要とする場合には、本部確認の上、柔軟に対応できることとなっている。

第2回評議会（10/28開催）から変更があった部分について、赤字にしています。

支部医療費適正化等予算：予算枠	15,929千円
支部医療費適正化等予算：合計額	13,910千円 12,353千円

(単位：千円)

分野	事業名	事業の目的・概要等	予算額
医療費適正化対策経費	<新規> 適正受診に関する個別通知の送付	緊急性が無いと思われる診療内容で、連続して休日・夜間等に医療機関を受診している方に対して、診療時間外の受診は割増料金になることや相談電話を活用するなどの「上手な医療のかかり方」を記載した通知を送付し、受診行動の振り返りをしてもらう。	4,928
	<新規> 柔道整復施術療養費長期受療者に対する啓発文書の送付 柔道整復施術療養費長期受療者への通知等の発送	宮城支部での柔道整復療養費の現状として、支給額および1件当たり支給額が全国的に減少傾向にある中で前年比より1%増加傾向にある。このため、利用する方が正しい制度理解の上で受診していただくことが重要と考え、長期間受療している方に対して、制度の理解が深まる内容の啓発文書やアンケートを送付する。回答結果から、その内容を分析し、制度の理解度の確認や、今後の適正化に向けた取り組みの参考とする。 宮城支部での柔道整復療養費の現状として、支給額および1件当たり支給額が前年比より1%増加傾向にある。全国的に支給額および1件当たり支給額が減少傾向にあるなか、当支部として何らかの対策が必要と思われるため、広島支部で実施した柔道整復施術療養費版医療費通知の発送を参考資料として、長期受療者への通知等の発送を行う。	1,075 3,860
	<新規> 医療機関従事者を対象とした健康保険事務説明会の実施	県内の医療機関従事者を対象に、県内4会場（仙台市、大崎市、大河原町、石巻市）で、支払基金と合同で健康保険事務説明会を開催する。今までも隔年実施しており、医療機関従事者から開催を望む声を今年度もいただいている。医療機関従事者に限度額認定証の利用促進やスムーズなレセプト請求についてより理解いただくことで、制度の周知や健康保険事務を円滑に進めることにつながる。	246 392
	<継続> 資格喪失後受診者への返納金納付督促等架電業務	新規発生債権納付書送付時の納入督促架電（平日夜間及び休日）、被保険者証返納催告書送付時の回収催告架電（平日夜間及び休日）を委託業務として実施し、催告実施のタイミングで架電することで、早期の回収を図る。	3,960
	小計		

分野	区分	事業名	事業の目的・概要等	予算額
広報・意見発信経費	紙媒体による広報	<p><継続> 任意継続保険加入のご案内セットの作成・配付及び納入告知書同封チラシの作成・配布</p>	<p>年度初めの支部窓口の混雑を防ぐとともに、窓口申請の減少と郵送化の促進することを目的に、年度末等に退職者が多い事業所へ、事前に申請書や案内等を必要数配付する。また、事業所に毎月送付する納入告知書に同封するチラシを作成する。事業主、加入者へ協会けんぽの事業等を周知広報することができる。</p>	1,611
	その他の広報	<p><継続> 新聞広告、フリーペーパー等を活用した、宮城支部の取組に関する広報事業</p>	<p>加入者理解度調査で理解が低かった「職場健康づくり宣言」事業を中心とした宮城支部の取組について、新聞広告やフリーペーパーを活用し幅広く広報を行い、事業主や加入者に対して健康づくりに関する意識啓発を図る。</p> <p>宮城支部のデータヘルズ計画の目標を達成するために健康経営の普及拡大が求められており、幅広く広報を行い周知することが必要である。広く県民に対し健康に関する意識啓発や協会けんぽ宮城支部の健康経営事業である職場健康づくり宣言を周知するため、新聞広告等を利用する。</p>	2,530
		<p><新規> テレビCMや動画を活用した、宮城支部の取組に関する広報事業</p>	<p>加入者理解度調査で理解が低かった「職場健康づくり宣言」事業を中心とした宮城支部の取組について、テレビCMや動画を活用し幅広く広報を行い、事業主や加入者に対して健康づくりに関する意識啓発を図る。特に動画を作成することで、社内や宮城支部が開催する研修会など幅広い場面での活用が可能となる。</p>	3,520
小計				7,661
支部医療費適正化等予算 合計				13,910 12,353

2. 宮城支部保健事業予算について

◆保健事業における重点的な取組等に対し措置する予算とは

保健事業における重点的な取組等に対し措置されてきた予算については、

- 支部ごとに要求できる予算の上限が設けられ、特定健診の対象となる40歳以上の加入者を踏まえて設定されている。
- なお、上限内で要求する分野ごとの配分は、支部の裁量で設定できることを原則とし、予算執行時においては、分野間の振替えを必要とする場合には、本部確認の上、柔軟に対応できることとなっている。

第2回評議会（10/28開催）から変更があった部分について、赤字にしています。

支部保健事業予算：予算枠	77,407千円
支部保健事業予算：合計額	77,223千円 77,325千円

（単位：千円）

区分	事業名	事業の目的・概要等	予算額
健診経費	<継続> 協会主催の集団健診「まちかど健診」の開催	未受診者対策の一環として、年度後半に協会主催の集団健診を開催し、特定健診受診率及び特定保健指導実施率の向上を目的とし、主に受診率の低迷している地域や市町村の未受診者健診を実施しない地域をターゲットに、協会けんぽ主催の集団健診としてショッピングセンター等を利用した「まちかど健診」を実施する。また、特定保健指導の対象者については、健診当日及び後日、特定保健指導を実施する。	2,887
	<継続> 事業者健診結果データ提供にかかる同意書取得勸奨業務委託について <継続> 健診機関による委任状取得の委託費	支部で提供する対象事業所リストを基に、勸奨文書を発送し、電話による勸奨、訪問による勸奨を複数回実施し、同意書の受領を行う。また同意書の受領後は、健診結果票（紙）の受領や、問診票の記載依頼等の事業所との折衝業務、健診結果のデータ化までを一貫して行う。対象2,000事業所、同意書獲得300事業所、紙媒体の獲得3,500件、パンチ件数4,500件（紙媒体の獲得3,500件＋支部獲得1,000件）を見込んでいることから業務委託により実施する。	6,611 5,841

(単位：千円)

区分	事業名	事業の目的・概要等	予算額
健診経費	<継続> 健診推進に係る経費	生活習慣病予防健診（一般健診）の実施数向上を目的に、委託健診機関に対し、対前年度比の実施増加数（実績）に応じて報奨金を支払う。	15,861
	<新規><継続> 健診受診勧奨等に係る経費	【新規】生活習慣病予防健診未受診事業所への受診勧奨（P3参照）、【以下継続】集合バス健診の案内チラシの作成、仙台市の集団健診受診勧奨、市町村の未受診者健診を活用した受診勧奨、新規加入事業所及び新規加入者への健診案内発送業務、被扶養者用特定健診受診パンフレットの作成、令和3年度生活習慣病予防健診パンフレットの作成（事業所用及び任継加入者用）、令和3年度情報提供サービス利用案内パンフレット作成	14,599
	<継続> 健診実施機関実地指導旅費	委託機関への実地指導を行う際の交通費。委託機関に対し5年に1回の実地指導を行うこととなっているため、令和2年度に実施する。	104
小計			40,062 39,292
保健指導経費	<継続> 中間評価時の血液検査費	健診機関における特定保健指導時の血液検査を実施する。	3,300
	<継続> 保健指導推進経費	特定保健指導の実施数向上を目的に、委託健診機関に対し、対前年度比の実施増加数（実績）に応じて報奨金を支払う。	1,099
	<継続> 保健指導利用勧奨経費 （特定保健指導、共同利用チラシ等の作成）	特定保健指導実施率の向上を目的に、健診機関において生活習慣病予防健診結果にチラシを同封し特定保健指導及び共同利用に関する周知を図るとともに、事業所宛て特定保健指導案内文書に依頼文書及び保険料率インセンティブに関する周知チラシを同封し、事業所での受け入れ率向上を図る。	2,121
	<継続> その他	保健指導機関委託費、医師謝金、保健指導用データ等送料、保健指導パンフレット作成等、保健指導用図書購入費、公民館等における特定保健指導	1,494 1,584
小計			8,014 8,104

区分	事業名	事業の目的・概要等	予算額
重症化予防事業 経費	<継続> 未治療者に対する受診勧奨	本部提供の二次勧奨リストを基に作成した文書による勧奨、支部保健師による訪問勧奨を行い、健診結果から治療が必要とされたにもかかわらず未治療である者への受診勧奨を行う。	3,556 5,099
	<継続> 重症化予防対策	生活習慣病予防健診受診者のうち、検査結果が一定の基準に該当する者を選定し、対象者への受診勧奨および当該事業の利用勧奨を実施する。また、未治療者受診勧奨から外れる重症化域者に対し、個別介入文書を送付し、重症化の予防を図る。	15,480 13,744
コラボヘルス 事業経費	<継続> 外部委託等による業界団体とのコラボヘルス事業の実施	宮城支部ではデータヘルス計画（目標として主に加入者の血圧値を下げる）の下位目標にコラボヘルスの推進を掲げ、事業主への健康経営の促進、業種団体との連携によるコラボヘルスの実施に注力している。それぞれの事業所や業種の課題に応じた健康づくり出張セミナーや各種測定会等実施し、ポピュレーションアプローチの手法により事業主と加入者の行動変容を促す。	1,045
	<継続> 職場健康づくり宣言事業所に対するフォローアップ事業	事業所内での健康づくりの推進を図ることを目的に、「職場健康づくり宣言」制度におけるオリジナルプランに取り組む事業所を支援するもの。健康カルテ、チェックシートの送付、出前講座の実施、健康づくり啓発のための教材（DVD）の貸出事業（新規）、各種リーフレット等の提供を行う。	4,001 4,976
その他の経費	<新規> 被保険者に対する生活習慣の改善勧奨通知	自身の健康リスクを軽減するため、生活習慣の改善に取り組んでいただき、生活習慣病の重症化を予防することを目的に、問診票から生活習慣の改善意欲があると考えられる者等を対象に、健診結果に基づく健康状態の他の加入者との比較、健康に関する基礎知識、生活習慣の改善のコツや医療機関への早期受診の必要性などについて記載したオーダーメイドの情報提供リーフレットを送付するもの。	4,900
	<継続> 関係団体と連携した健康イベントへの参加	関係団体とも連携した健康イベントに参加し、加入者に対する健康意識の啓発を行うとともに、関係団体との連携強化を図ることを目的とするもの。	165
小計			29,147 29,929
支部保健事業予算 合計			77,223 77,325